

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こばんはうすさくら豊橋多米西教室

公表日 2025年7月20日

利用児童数 20名

回収数 20名分

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2		2	・活動スペースは広いと思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	3		4	・日に何人の先生がいるのかわかりません。 ・日によって数が少ないのかな？と感じることがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	2			・とてもキレイだと思います。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	3		2	・通所してからかなりの成長がみられた。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	2				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	3			・保護者としてしっかり話し合いをして作成されていると思います。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	2				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	2		2	・事業所での様子を見たことがないのでわかりません。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1	1	1	・色々な内容の活動ができています。 ・とても楽しんでいます。 ・おでかけ先のバリエーションが乏しいのが気になります。	・利用日によって活動内容に偏りが出ないよう「集団」「運動」「造形」「音楽」の分野に分け色々な事が経験できるよう努めております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	4	7	・他の放デイとの交流等あれば刺激合えて良いのかなと思いました。 ・必要性を今のところ感じない。	・おでかけで児童館へ出かけたり、他事業所のお子様との関わりを持つ機会がございます。今後必要に応じて固定プログラムとして検討して参ります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1			・いつも丁寧に説明してくれます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	7	5		・今後ご家族様に質の良い研修、情報提供ができるよう準備を進めていく所存です。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	2			・様子をよく見て、体調の変化にも気づいてもらえて助かっている。 ・学校での困り事がある際に担当の先生以外の先生も親切にして下さり嬉しかったです。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	3		3	・定期的に面談があります。 ・面談で困り事を話す共感しながらお時間を取って下さりアドバイスも頂けて嬉しかったです。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	2		2	・一部いるように感じる。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	9	5	・保護者同士の交流はないが必要性を感じない。 ・参観日等、様子を見れる日があると嬉しいと思う時があります。 ・人間関係がとても苦手なのでやらない	・今後ご要望等あれば前向きに検討して参ります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1		5	・対応してもらっているので助かっています。 ・今までここまで対応して下さったところはないと思います。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1		3	・毎月のおたより、ブログ見えています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12			7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			8	・一度も話を聞いたことがないので利用日の週末にも想定して実施を希望します。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			4	・事故事案がなかった。 ・ケガ、体調の変化などしっかり教えてくれる。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19				・本人にとって安心できる場所となっているようです。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	2			・楽しみにしている時と嫌がる時があります。 ・楽しみにしてお友達の話もしてくれます。 ・天気予報を見ながらどこに出かけるのか想像しているので楽しみにしていると感じます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	2		1	・満足していますし、感謝でいっぱいです。 ・たくさんの先生に支えられ苦手な事が好きになりました。先生方が本人の心の支えでもあったと感じます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				2025年 7月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		・集団で体を動かす活動ができるスペースが確保されている。 ・利用人数に対して少し広いように思うが概ね問題ない。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9	3	・状況によって児発と放デイの人員配置を臨機応変に変えている。	・日によって職員の数が少ないと感じる時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	2	・タイムスケジュールの可視化 ・タイムタイマーの活用	・もっとわかりやすい環境調整ができる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	1		・改善の余地はある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	1	・相談室を開放したり、マットで一人に慣れる空間を作って対応している。	・個室使用の際のルールが曖昧。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	5	・業務終了後に職員間で振り返りを行い業務改善に努めている。	・対面で話し合える時間があると良い。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	2		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	3	・職員間で意見交換の場を設け業務改善に努めている。	・職員間での共有の仕方を考えていく必要あり。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	1	・入社後、基礎研修等の受講 ・積極的に外部の研修の受講が推奨されている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12			・症例検討を行うとより良い。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		・計画を作成する際に職員の意見が反映されるようカンファレンスや情報共有を積極的に行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	1		・共有の仕方に改善の余地はある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10			・標準化されたフォーマルアセスメントはできていない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	1	・アセスメントを行い、子どもに対して包括的な支援が行えるよう多面的な視点から支援を行えるよう努めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	3		・日毎で担当制としている為、個人で立案したものを共有している。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		・大まかな活動プログラムを設定し、支援員が各々プログラム内容を考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	4	・業務開始の際に1日の支援方針を職員全員で確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	3	・一日の振り返りの際に意見交換や支援方針についてカンファレンス。送迎や休みで不在の職員には日報で周知。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	2		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	10	2		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	2	・活動プログラムの中でお子様が選択できるよう複数の内容を設けたり、遊びの中で自ら考えられる場面を設定。	・お子様が自ら積極的に自己決定できる場面を増やす。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		・児発管と直接支援で関わっている職員が参加できるように調整している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1	・相談員の方を中心に送迎の際に園や学校と情報共有を行いながら支援の方向性の擦り合わせを行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	3		・前例がない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	8	・直接的な交流ではないがお出かけの際など施設や一般の方と交流	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		・連絡帳や送迎時のフィードバックで情報を共有し共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	2		・現在、家族支援に向けた体制を整えている
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・保護者様からの意見を共有し、スタッフ間で意見を出し合っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	10		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		・苦情があった際には速やかに職員全員と共有し対応を考えるように体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	9		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	3		・入所時の研修でマニュアルの周知をしてもよいのではないかな。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	3	・事業所内の訓練だけでなく、地域の消防署職員にに来てもらい職員向けの緊急時対応研修を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	3		・訓練や研修はあるが回数が少ないと感じる。 ・職員によって安全意識に差がある。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			・事案、対策の検討、共有が十分でないと感じる。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		・外部研修に積極的に参加している。	・行っているが、もっと深く全体で共有、周知するべき。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	4		